○予防接種は感染症を防ぐために大切なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。
○万が一、定期の予防接種による健康被害が発生した場合は、“予防接種健康被害救済制度”がありますので、お住まいの市町村にご相談ください。

## こどもが急病！救急当番医に駆け込む前に…

**北海道小児救急電話相談**

看護師が電話相談に応じ、直ちに救急病院にかかる必要があるか、家庭でどのような応急手当をすればよいかなどのアドバイスを行います。より専門的な知識を要する相談には、小児科医が応じます。

■受 付 時 間／毎日：午後7時～翌朝8時
■受付電話番号／011-232-1599
■短縮ダイヤル／#8000

※IP電話、ひかり電話およびPHSからはつながりません。
※午後11時から翌朝8時まではコールセンター（道外の小児科医・看護師）で相談に応じます。

## 救急当番医や、最寄りの医療機関を探すときに…

**北海道救急医療・広域災害情報システム**

■インターネット／http://www.qq.pref.hokkaido.jp
■フリーダイヤル／0120-20-8699
■携帯電話・PHS／011-221-8699

※医療相談は行っておりません。

2025年2月　第12版　第1刷発行

4月からの入園・入学に備えて

# 予防接種はお済みですか？

保育園や幼稚園、小学校の集団生活が始まると、さまざまな感染症にかかるリスクが高くなってきます。
集団生活に入る前に予防接種を受けることで免疫力をつけることができ、感染症から身を守ることができます。

一般社団法人　北海道医師会

予防接種法により、原則無料で接種ができるワクチンは別表のとおりとなっており ますので、かかりつけの医師とご相談の上、必要な予防接種を受けて、病気を未然に防ぎま しょう。

| ワクチン | 疾患名 | 接種スケジュール |
|---|---|---|
| 小児用肺炎球菌（PCV20） | 肺炎球菌感染症 | 生後2月～生後60月（5歳）に至るまでの間に最大4回 |
| B型肝炎 | B型肝炎 | 生後2月～生後1歳に至るまでの間に3回<br>標準的な接種期間は、「生後２月に至った時に１回目、１回目から27日以上の間隔をおいて２回目、１回目から139日以上の間隔をおいて３回目を実施」とされています。 |
| 五種混合（DPT-IPV-Hib） | 百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ、Hib感染症 | 生後2月～生後90月（7歳半）に至るまでの間に4回 |
| 二種混合<br>（DT：ジフテリア、破傷風） | | 11歳以上13歳未満の間に1回 |
| BCG | 結核 | 生後1歳に至るまでの間に1回 |
| 麻しん風しん混合（MR） | 麻しん（はしか）、風しん | 生後12月～生後24月に至るまでの間に1回<br>＋<br>5歳以上7歳未満であって、小学校に入学する前の年の4月1日～入学する年の3月31日までの間に1回 |
| 水痘 | 水痘（水ぼうそう） | 生後12月～生後36月に至るまでの間に2回 |
| 日本脳炎 | 日本脳炎 | 生後6月～生後90月（7歳半）に至るまでの間に3回<br>＋9歳以上13歳未満の間に1回<br>標準的な接種期間は、「３歳で２回、４歳で１回、９歳で１回実施」とされています。なお、これ以外の年齢の方にも接種が勧奨されますので、お住まいの市町村に直接お問い合わせください。 |
| ヒトパピローマウイルス<br>（HPV） | 子宮頸がんおよび<br>その他のHPV関連疾患 | 小6～高1相当までの間に2回または3回<br>ワクチンの種類によって接種回数が異なります。（２価および４価は３回、９価は１回目接種時の年齢により２回または３回。）<br>1997 ～ 2007年度生まれの女性は、2022年4月～ 2025年3月までの3年間、キャッチアップ接種(従来の定期接種の対象年齢を超えて行う接種)ができます。<br>※キャッチアップ接種期間中に初回接種を受けていれば、2026年3月末まで公費負担による接種が可能です。 |
| ロタウイルス | ロタウイルス感染症（胃腸炎） | １価:生後6週～生後24週までの間に2回<br>５価:生後6週～生後32週までの間に3回<br>標準的な接種期間は、生後2月から生後14週6日までに初回接種、4週間以上の間隔をおいて2回目・3回目を接種するとされています。 |